

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年2月10日

上場取引所 JQ

上場会社名 大阪港振興株式会社

コード番号 8810 URL <http://www.osakakoshinko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 正一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 四宮 誠之

TEL 06-6571-0861

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	1,925	△5.6	471	10.0	477	10.5	205	△30.8
21年3月期第3四半期	2,039	—	428	—	432	—	297	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	103.94	—
21年3月期第3四半期	149.75	—

※上場株式は優先株式であるため、優先株式についてのみ記載しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	9,051	5,118	56.6	2,562.32
21年3月期	9,308	4,908	52.7	2,457.09

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 5,118百万円 21年3月期 4,908百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	13.00	13.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	13.00	13.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

※上場株式は優先株式であるため、優先株式についてのみ記載しております。

### 3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,520	△6.2	580	14.1	580	12.2	260	△17.0	131.11

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

※上場株式は優先株式であるため、優先株式についてのみ記載しております。

#### 4. その他

##### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】、4ページ4.その他をご覧ください。

##### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

##### (3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 460,000株 21年3月期 460,000株
- ② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 一株 21年3月期 一株
- ③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 22年3月期第3四半期 460,000株 21年3月期第3四半期 460,000株

(注)普通株式は株式会社辰巳商會所有の非上場株式であり、上場株式は優先株式であります。

##### 発行済株式数(優先株式)

- 1. 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 1,540,000株 21年3月期 1,540,000株
- 2. 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 2,278株 21年3月期 2,278株
- 3. 期中平均株式数(四半期累計期間) 22年3月期第3四半期 1,537,722株 21年3月期第3四半期 1,537,806株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

##### 1. 22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

###### (1) 経営成績

(注)1株当たり四半期純利益103円94銭は上場している優先株式(154万株)に対するものであり、株式会社辰巳商會所有の普通株式(非上場46万株)の1株当たりの四半期純利益は99円79銭。

###### 2. 配当の状況

(注)優先株式は上場株式であり、普通株式は株式会社辰巳商會所有の非上場株式であります。

##### 3. 22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(注)1株当たり予想純利益(通期)131円11銭は上場している優先株式(154万株)に対するものであり、株式会社辰巳商會所有の普通株式(非上場46万株)の1株当たり予想当期純利益(通期)は126円92銭。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、状況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## ・ 定性的情報・財務諸表等

## 1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、生産や輸出の一部で回復の兆しが見られるものの、企業収益の低迷による設備投資の抑制や雇用情勢の悪化、さらには円高とデフレの進行により、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況におきまして、当第3四半期累計期間の経営成績は、土地事業で大阪市から賃借していた市有地の大部分を返還したことによる駐車場収入の減少、物流事業で平成21年11月30日をもって冷蔵倉庫を閉鎖したことなどにより、売上高は19億2千5百万円（前年同四半期比5.6%減）となりました。

利益面では、諸経費の削減に努めたことにより、営業利益は4億7千1百万円（前年同四半期比10.0%増）、経常利益は4億7千7百万円（前年同四半期比10.5%増）となりましたが、特別損失で固定資産除却損6千2百万円および減損損失8千3百万円などを計上したことにより、四半期純利益は2億5百万円（前年同四半期比30.8%減）となりました。

## 2. 財政状態に関する定性的情報

## (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比べ2億5千6百万円減少し、90億5千1百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少によるものです。

負債は、前事業年度末と比べ4億6千6百万円減少し、39億3千2百万円となりました。これは主に修繕引当金および受入敷金保証金の減少によるものです。

純資産は、前事業年度末と比べ2億1千万円増加し、51億1千8百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものです。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間末における現金及び現金同等物は、4億9千2百万円と前事業年度末と比べ1億9千3百万円の減少となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1億8千5百万円の収入（前年同四半期は9百万円の収入）となりました。これは主に税引前四半期純利益が3億4千8百万円と前年同四半期と比べて33.1%の減益となりましたが、法人税等の支払額の減少および減損損失等の増加要因があったためであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、3億6百万円の支出（前年同四半期は1億4千5百万円の支出）となりました。これは、当四半期には有形固定資産売却による収入がなく、有形固定資産の取得による支出があったためであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、7千1百万円の支出（前年同四半期は1億4千6百万円の支出）となりました。これは長期借入金の返済および配当金を支払ったためであります。

なお、当事業年度より、5. 【四半期財務諸表】(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】を開示しております。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の通期業績予想につきましては、平成21年11月12日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	692,576	835,911
受取手形及び売掛金	41,211	72,352
有価証券	130,239	—
その他	65,387	53,445
貸倒引当金	△2,100	△3,600
流動資産合計	927,315	958,110
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,169,606	4,364,318
土地	2,235,798	2,065,201
その他(純額)	230,333	314,254
有形固定資産合計	6,635,738	6,743,775
無形固定資産	11,604	17,917
投資その他の資産		
投資有価証券	1,265,222	1,346,140
その他	212,101	242,732
貸倒引当金	△300	△300
投資その他の資産合計	1,477,023	1,588,573
固定資産合計	8,124,366	8,350,266
資産合計	9,051,682	9,308,376
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	44,789	62,184
短期借入金	64,000	64,000
未払法人税等	63,498	36,995
賞与引当金	5,000	22,000
その他	453,885	494,050
流動負債合計	631,173	679,231
固定負債		
長期借入金	180,000	228,000
退職給付引当金	228,255	251,089
役員退職慰労引当金	30,750	50,500
修繕引当金	332,779	457,964
受入敷金保証金	2,483,016	2,682,518
その他	46,903	50,493
固定負債合計	3,301,704	3,720,564
負債合計	3,932,878	4,399,796

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	58,178	58,178
利益剰余金	4,935,945	4,754,350
自己株式	△3,405	△3,405
株主資本合計	5,090,718	4,909,122
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	28,086	△542
評価・換算差額等合計	28,086	△542
純資産合計	5,118,804	4,908,580
負債純資産合計	9,051,682	9,308,376

(2) 【四半期損益計算書】  
【第3四半期累計期間】

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	2,039,271	1,925,051
売上原価	1,376,287	1,213,708
売上総利益	662,984	711,342
販売費及び一般管理費		
役員報酬	73,933	72,575
給料及び手当	50,029	69,777
退職給付費用	7,822	9,681
役員退職慰労引当金繰入額	42,850	19,850
賞与引当金繰入額	1,380	1,945
貸倒引当金繰入額	—	79
その他	58,201	65,776
販売費及び一般管理費合計	234,216	239,684
営業利益	428,767	471,657
営業外収益		
受取利息	1,708	1,235
受取配当金	3,891	3,821
有価証券利息	10,359	10,362
その他	2,237	2,395
営業外収益合計	18,196	17,813
営業外費用		
支払利息	10,067	7,449
支払手数料	4,207	4,152
その他	76	2
営業外費用合計	14,350	11,604
経常利益	432,613	477,867
特別利益		
修繕引当金戻入額	—	23,500
貸倒引当金戻入額	2,748	—
関係会社株式売却益	1,260	—
固定資産売却益	103,569	—
特別利益合計	107,577	23,500
特別損失		
固定資産除却損	18,757	62,710
減損損失	—	83,676
リース解約損	—	6,254
特別損失合計	18,757	152,641
税引前四半期純利益	521,434	348,725
法人税等	224,200	143,000
四半期純利益	297,234	205,725

## (3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位:千円)

	(参考)前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	521,434	348,725
減価償却費	238,406	223,035
減損損失	—	83,676
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,800	△1,500
賞与引当金の増減額(△は減少)	△19,800	△17,000
修繕引当金の増減額(△は減少)	△76,738	△125,185
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△53,880	△22,834
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	25,350	△19,750
受取利息及び受取配当金	△15,959	△15,418
支払利息	10,067	7,449
固定資産除却損	5,542	228
固定資産売却損益(△は益)	△103,569	—
売上債権の増減額(△は増加)	7,110	33,423
仕入債務の増減額(△は減少)	△10,755	△11,490
預り敷金及び保証金の返還による支出	△263,612	△233,420
預り敷金及び保証金の受入による収入	26,075	34,202
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	5,933
未払消費税等の増減額(△は減少)	△10,514	12,682
その他	△15,663	△12,155
小計	260,690	290,601
利息及び配当金の受取額	16,393	15,850
利息の支払額	△7,282	△4,609
法人税等の支払額	△260,068	△116,497
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,732	185,345
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△300,000	△200,000
定期預金の払戻による収入	300,000	150,000
有形固定資産の取得による支出	△218,543	△262,466
有形固定資産の売却による収入	105,000	—
貸付けによる支出	△1,350	△650
貸付金の回収による収入	11,023	6,230
その他	△41,163	△100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△145,034	△306,985
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△123,000	△48,000
自己株式の取得による支出	△51	—
配当金の支払額	△23,883	△23,693
財務活動によるキャッシュ・フロー	△146,934	△71,693
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△282,236	△193,334
現金及び現金同等物の期首残高	703,488	685,911
現金及び現金同等物の四半期末残高	421,252	492,576

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。